

戦略Note

人事担当者のための 成果を生み出すファシリテーション

～生産的な場をコントロールするプロセスとスキル～

(株)リンクイベントプロデュース ファシリテーター 広江朋紀

■情報を「伝える・下ろす」では限界

ご承知の通り、会議体の運営では、議長・司会役の手際の良さが成果を左右する。「意義のある生産的な場となった」「意見集約が適切だった」「これで我々は一步前進できる」と賛意の得られるケースもあれば、「結論ありきじゃないか」「皆しらげきっていた」「言いたい人が勝手にしゃべっているだけ」「結局、何のミーティングだったの?」と会議体自体が疑問視される場合もある。関係者の意見を吸い上げ、整理し、共通認識を経て生産的な成果にまとめるファシリテーションスキルが注目されるゆえんだ。ファシリテーションは、各層のリーダー1人ひとりに身につけてほしいスキルであると同時に、人事担当者自身にも必要なノウハウの1つであろう。制度設計や制度説明などの際に、一方的な情報伝達で社員たちの参加意欲が芽生え、自主的な行動が盛り上がり、仕組みや制度が活性化するかとなると、限界もある。といて、「皆さんの意見を吸い上げて」という理想が、「各自言いつ放し」「声の大きいヤツには逆らえない」「単なるガス抜き」となっても説得力を失う。会議体運営のコツは何か。参考の余地の大きいコンテンツを企画した。(編集部)

CONTENTS

- No.1 今、なぜファシリテーションが必要なのか?
- No.2 ファシリテーションが最も効果的に発揮される場(会議)とは?
- No.3 ファシリテーションを有効に機能させるプロセスとは?
- No.4 関係をつくる：場づくり(関係づくり)を阻む4つの壁
- No.5 関係をつくる：参加者の価値観を踏まえて関わる
- No.6 聴く・引き出す：聴く力を高める6つの秘訣
- No.7 聴く・引き出す：優れた答えを引き出す4つの問いかけ
- No.8 具体策を決める：5Pの観点を使って多面的に検証し決める
- No.9 動機づける：感情を揺さぶるストーリーで動機づける
- No.10 自社の会議レベルを診断したい(会議診断シート)
- No.11 意見や質問が活発に出るための場づくりとは?
- No.12 会議に「後ろ向き」な参加者とのように接すれば良いか?

■広江朋紀(ひろえ ともりのり)：

産業能率大学大学院卒(組織行動論専攻/MBA)。出版社勤務を経て、2002年に(株)リンクアンドモチベーション入社。HR領域における豊富な経験を基に組織開発ファシリテーター・研修講師として活動中。上場企業への研修実績300社超、受講者3万人を超える。参加者が本気になる場創りの力に定評あり、顧客・参加者満足度同社トップクラス。ファシリテーターの養成も行っている。主著に「場が変わり、人がいきいき動き出す『研修・ファシリテーションの技術』」「なぜ、あのリーダーはチームを本気にさせるのか?」(いずれも同文館出版)。

■(株)リンクイベントプロデュース

- 住所：東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX 12階 ●TEL：03-6779-9435
- URL：<https://event.link-ep.co.jp/>

